

保険者協議会の協働の取組について

②令和3年度 東京都が実施するイベントへの後援等について

第1回保健活動部会(令和3年6月29日開催)でピンクリボンイベント及びTokyo健康ウォークで配布する後援グッズのデザイン等の協議をしたが、以下の理由により後援グッズの作成を見送ることとなった。

第1回部会での検討状況

イベントが中止した場合または開催時期の2ヶ月前にイベント開催の可否が決定していない場合は、作成を見送ることを前提に、

- ①ピンクリボンイベント(10月頃) は、『絆創膏』を後援グッズとし、
- ②Tokyo健康ウォーク(11月頃) は、『ウェットティッシュ』を後援グッズとすることになった。

→メッセージ及びデザインを協議・集約した(P.3～P.4参照)。



後援グッズ作成見送りの経緯

第1回保健活動部会開催以降、全国的な感染急拡大がみられ、各イベントの約2か月前となる7月下旬～9月上旬には東京都で約3千人～5千人/日の新規感染者が日々発生し、感染者の収束や緊急事態宣言解除の見込みが立たない状況が続いた。

併せて、東京都から緊急事態宣言が発令される場合、イベントが中止になることやこれまでの配布方法やイベント形態が一部変更となる可能性が高い連絡があった。

→当時の感染状況等から発注後にイベントが中止となった場合、保管方法や品質の問題など在庫リスク等を保健活動部会長と協議し、保険者協議会長に報告のうえ、令和3年度は後援を見送ることとなった。(令和3年9月8日事務連絡『ピンクリボンイベント及びTokyo健康ウォークの後援について』参照)

●イベント後援の背景

平成30年度まで東振協のイベントでリーフレット等を作成、配布していたが、配布先の会員が限定される等の理由により、平成31年度から促進月間を活用した広報活動として、東京都が実施するイベントへの後援及び参加者への啓発を実施している。

●イベントの開催状況と後援グッズ配布状況

	平成31年度	令和2年度	令和3年度
ピンクリボンイベント	開催 →後援グッズ配布 (街頭配布)	イベント形態が縮小 →後援グッズ作成見送り	開催 →後援グッズ作成見送り (作成した場合、街頭配布)
Tokyo健康ウォーク	開催 →後援グッズ配布 (参加者配布)	中止 →後援グッズ未作成	開催予定 →後援グッズ作成見送り (作成した場合、実施期間中に アプリウォークによる完歩者の うちアンケート回答者へ後日 郵送)

協議事項

- ①令和2年度に引き続き、後援グッズを配布していないことから、保険者協議会として参加者への啓発等の広報活動ができていない現状である。今後もイベントへの後援を継続するか。
また、継続しない場合、代替案はあるか。
- ②イベントの後援を継続する場合、令和4年度に後援グッズを作成する際の作成条件など意見はあるか。
 - ・発注時に緊急事態宣言が発令されていても後援グッズを作成するか。
 - ・発注後、イベントが中止となった場合、作成した後援グッズをどのように取り扱うか。
(翌年度に配布するか。改めて翌年度検討するか。) 等

(参考)

第1回保健活動部会後委員調査結果

●Tokyo健康ウォーク（ウェットティッシュ）

案1

9票

コロナ禍においても、がん検診受診の必要性を訴えかけるメッセージ



案2

1票

定期的ながん検診受診の受診勧奨を促すメッセージ



【委員ご意見】

- このご時世、コロナという文字は目に留まると思うので、案1が良いと思う。
コロナ禍で全員がマスクや手指消毒などの基本的な感染対策、医療（健診）機関でも感染防止策を施しているため、コロナを恐れずに安心して受けてもらうようなメッセージにするのも良いのではないかと。
例：「日本人の2人に1人はがんにかかっています」を「健診機関の感染防止は万全です」
「コロナ禍でも定期的な受診が大切です」を「コロナ禍でも安心して受けられます」
- ワクチン接種が促進されており、11月配布の時期に「コロナ禍」を謳った内容にするのはどうかと思い案2にした。現在の緊急事態宣言が出ているような状況であれば案1がよい。

●ピンクリボンイベント（絆創膏）



3票



7票

※絆創膏のメッセージについては、ウェットティッシュと比べ保有期間が長いと想定されることから、コロナ禍での受診勧奨を促す内容は反映せずに作成

《中身》

乳がんの基礎知識

乳がんの概要

・最も多くの女性ががんになる
 ・自分や周囲に気づける
 ・発症率、死亡率の上昇傾向
 ・転移、再発しやすい

早期発見

・乳房のしこり
 ・乳房のむくみなど形態の変化
 ・乳首の下のじんがゆずり
 ・乳腫れ
 ・ひんやり感（乳房のたれ）
 ・腋の痛み、しびれ、など

自己チェックの方法

✓ まずは目でチェック

- 両手を下ろした全身姿勢で鏡の前立ち、乳房の形、大きさ、臍のあたりがゆずり、乳首の形に変化がないかチェック。
- 両手で胸を強く押さえて①と同様にチェック。
- 両手を腰の後ろで合わせて②と同様にチェック。鏡にうつす角度を変えて見ると発見例。



✓ しっかり触ってチェック

お風呂やシャワーのとき

- 湯気が蒸気にはタオルを使う。
- 3、4本の指をそろえ、おの指でしこりがあがり調べ。
- 指先がつかない手で乳首と乳根をよく触る。
- 乳首の下から乳首に向かって、湯蒸きを強くように指をすする。



横になってチェック

- 寝る乳原胸の裏の下に新聞紙などを入れ、乳首を平たくして調べ。
- 寝る乳原胸の裏を寝て、平は胸の後ろに。
- 3、4本の指をそろえ、指の腹でしこりがあがり調べ。
- 乳首の下から乳首に向かって、湯蒸きを強くように指をすする。



中身については案①、案②共通となっています。

【委員ご意見】

- ・「中身」については、可能であれば、都が推奨する以下の内容を追記することを提案する。
 乳がん検診の受診対象年齢、受診頻度（東京都福祉保健局HPでは、40歳以上の女性・2年に1回となっている）
- ・案2ではメッセージが多いので案1がよいが、令和元年度のデザインそのままはどうかと思う。短いワードで何か入れればと思う。